

## 情勢報告（平成26年3月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

### J A土佐くろしおニラ部会中間検討会



J A土佐くろしおニラ部会中間検討会が2月21日に開催され、36名の生産者が参加しました。

振興センターからは、有望品種「ハイパーグリーンベルト」の草丈やその後重量などの特性を慣行品種と比較して報告しました。3番刈りの時点で「スーパーグリーンベルト」と比べて20日ほど早く収穫できたことについて、生産者からは驚きの声が聞かれました。

振興センターでは、引き続き収穫終了まで収量調査を行い、品種の特性を把握していきます。

### J A津野山シシトウ部会甘長トウガラシ栽培講習会



J A津野山シシトウ部会甘長トウガラシ栽培講習会が2月24日に開催され、10名の栽培希望農家が参加しました。

この取り組みは、甘長トウガラシの平成26年の栽培希望が多いので、振興センターとJ Aが協議し、栽培希望農家を対象に栽培講習会を開催したものです。

振興センターからは、栽培の概要と栽培上注意しなければならない生理障害や主な病虫害について説明しました。参加者は熱心に話を聞き、栽培に取り組む意欲が感じられました。

振興センターでは、J Aと連携して新規栽培者の栽培管理指導を行います。

### 津野町直販所生産者勉強会



津野町ふるさとセンターの主催で直販所生産者勉強会が2月24日～3月5日にかけて町内7カ所で開催されました。

勉強会では農薬の安全使用と春まき野菜の栽培方法などを講習のテーマとしており、振興センターは須崎・津野山・中土佐地区農産物直販所安全安心ネットワークの取り組みや適正で安全な農薬使用方法について説明しました。

振興センターでは、管内の直販所事務局と連携して農薬履歴記帳を基本とする農産物の安全・安心に取り組んでいきます。

### 津野町集落営農先進地視察研修（香川県）



津野町主催の集落営農先進地視察研修が3月16日に開催され、農家6名、関係機関4名が香川県の2組織を視察しました。

（農）アグリ天神では水稻と麦を中心に集落の農地を守る取り組みについて、山南営農組合では集落の維持のため、水田の維持を基本にしながらも、農家レストランやグリーンツーリズムなどにも積極的に取り組む集落営農活動について研修しました。先進地のリーダーの話を聞き、参加者も自分達の集落ではどうするか刺激を受けたようでした。

## JA土佐くろしおインゲン部会中間検討会



JA土佐くろしおインゲン部会中間検討会が2月27日に開催されました。

振興センターからは、次作に向けて土壌消毒の徹底と、今後のかん水管理、温度管理について指導を行いました。また、現在取り組んでいる、天敵利用技術についても実証ほのデータを示しながら情報提供を行いました。

## 第三回集落全体会（野生鳥獣に強い集落づくり事業）



本年度モデル地区に指定された須崎市浦の内立目地区の第3回集落全体会が3月11日に開かれました。

会では、自動カメラによる撮影の調査結果の説明や、鳥獣に関する事業の説明が各関係機関から地区の住民に説明されました。

柵を設置する場所等具体的な話し合いが行なわれ、来年度に事業を利用する方向となりました。事業活用の具体的な場所は、3月下旬に開かれる地区の総会で協議し、決定します。

## JA土佐くろしおピーマン部会現地検討会



3月20日に、JA土佐くろしおピーマン部会の現地検討会が開催され、農家6戸が参加しました。

振興センターからは、現在、県内各地の各品目で試験が行われているCO<sub>2</sub>施用技術について紹介しました。試験ほ場での実際の環境測定データを示し、ハウス締切時にCO<sub>2</sub>の飢餓状態が起こっていることなどを説明しました。